

2016年7月12日(火)

震災・復興とリスクマネジメント ( ○ ) 国際都市神戸と世界の文化 ( ) 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ ( ) グローバルサイエンスと拠点都市神戸 ( ) その他 ( )  
 人と防災未来センターで坪井塑太郎博士による「卒論に役立つ GIS 地理情報システム講座」を実施しました。

[概要]

坪井先生は、都市防災学、都市地理学、地理教育、社会技術が専門で人と防災未来センターで震災に関する研究をされています。

最近の主要論文

・小川雅人・坪井塑太郎・畔柳昭雄 (2015)：津波避難ビルの建築的特徴と地域的傾向に関する研究—南海トラフ巨大地震に伴う被害想定地域を対象として—, 日本建築学会計画系論文集, Vol.80-707, 221-230.

・小川雅人・坪井塑太郎・畔柳昭雄 (2014)：静岡県沼津市における津波避難ビルの立地分析, 日本沿岸域学会論文集 27, 29-40.

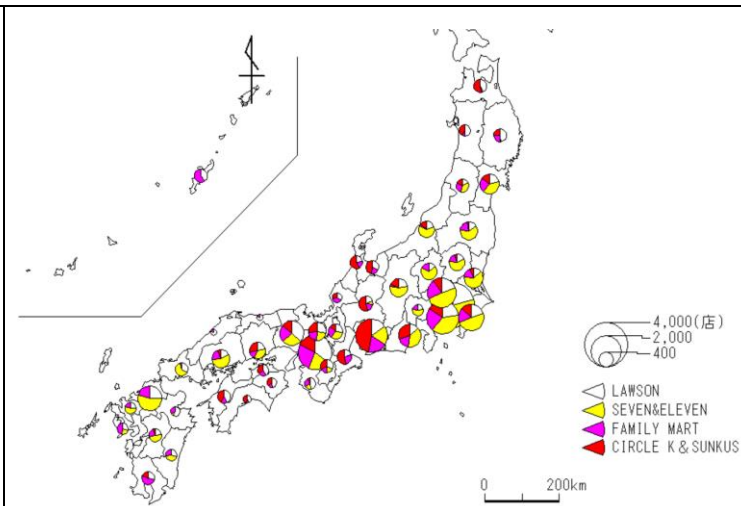
・菅原遼・坪井塑太郎・畔柳昭雄 (2014)：運河ルネサンス事業における運河の利用実態と事業展開に関する調査研究, 環境情報科学論文集 28 (環境情報科学センター), 413-418.



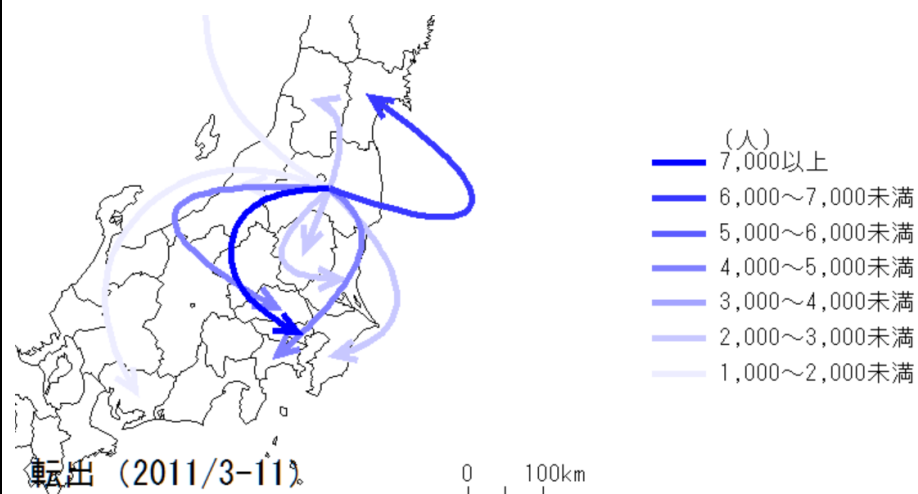
はじめに GIS の概要と図化する際の注意点を教えていただきました



熊本地震においても GIS が役立つことを坪井先生ご自身の活動から学びました。



(演習 1) 県毎のコンビニエンスストアの占有率を図化し、特徴を考察しました。



(演習 2) 東日本大震災後の福島県からの転出先・人数を図化し、考察しました。